

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 5 月 30 日

宮崎市長 殿



提出者

住 所 宮崎県宮崎市佐土原町東上那珂11375-12

氏名 プライムデリカ株式会社 宮崎工場
工場長 山口新次

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0985-74-1234

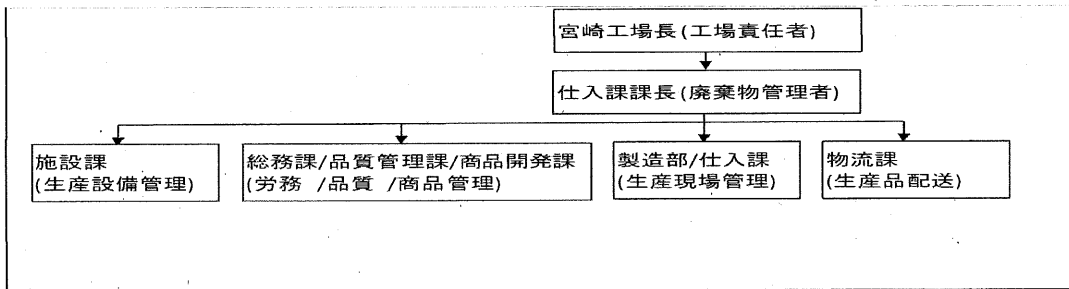
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	プライムデリカ株式会社 宮崎工場
事業場の所在地	宮崎県宮崎市佐土原町東上那珂11375-12
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食品製造業
② 事業の規模	2230万食
③ 従業員数	約400名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	別紙2参照
	排出量	別紙2参照	別紙2参照
	(これまでに実施した取組) 別紙2参照		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	別紙2参照
	排出量	別紙2参照	別紙2参照
	(今後実施する予定の取組) 別紙2参照		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2参照
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2参照

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	別紙2参照
	全処理委託量	別紙2参照	別紙2参照
	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照
	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照
	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照
	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照
	(これまでに実施した取組)		
	別紙2参照		

②計画	【目標】別紙2参照		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	別紙2参照
	全処理委託量	別紙2参照	別紙2参照
	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照
	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照
	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照
	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照
	(今後実施する予定の取組)		
別紙2参照			
※事務処理欄			

別紙 1

令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日） 産業廃棄物排出物資料

排出事業場名称	廃棄物の分類名	処分方法	処分区分	数量	単位	サーマル	優良認定
プライムデリカ（株）宮崎工場	汚泥（泥状のもの）	機械乾燥	最終処分	233040	k g		
	汚泥（泥状のもの）	機械乾燥	最終処分	32	m 3		
	汚泥（泥状のもの）	地下ピット・バキューム引き抜き	最終処分	72	m 3		
	金属くず	選別	最終処分	1.6	m 3		○
	動・植物性残渣	発酵堆肥化	最終処分	586000	k g		
	廃プラスチック類	焼却	中間処理	11360	k g		
	廃プラスチック類	破碎	中間処理	45610	k g	○	
	廃プラスチック類	圧縮	中間処理	256160	k g		○
	廃プラスチック類	選別	中間処理	710	k g		○
	廃プラスチック類	選別	中間処理	6.4	m 3		○

別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度(令和4年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類	汚泥(泥状のもの)	廃油	金属くず	廃電池類
	排出量(kg)	586,000	316,080	347,440	0	1,808	0
	排出量(t)	586.00	316.08	347.44	0.00	1.81	0.00
(これまで実施した取組) 動植物性残渣…工場で作りすぎの削減をし、排出量を抑制する。 廃プラスチック類…汚れを落として排出をする。 汚泥…排水溝へのクリーム類の流入を抑制し、汚泥の発生を抑える。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類	汚泥(泥状のもの)	廃油	金属くず	廃電池類
	排出量(t)	585.00	315.00	346.00	12.30	1.71	0.00
	(今後実施する予定の取組) 動植物性残渣…使用しなくなる食材の残数を抑制し、排出量を抑える。 廃プラスチック類…洗浄を機械化し、よりリサイクルされやすい状態で排出する。						
廃棄物の分別に関する事項							
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：動・植物性残渣、廃プラスチック類、汚泥、金属くず、廃電池類、廃油 取組：動植物性残渣を廃プラスチック類に極力付着させずに排出するために洗浄を行う。						
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：動・植物性残渣、廃プラスチック類、汚泥、金属くず、廃電池類、廃油、水銀使用製品産業廃棄物 取組：よりリサイクルしやすい排出方法を確立する。						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度(令和4年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類	汚泥(泥状のもの)	廃油	金属くず	廃電池類
	全処理委託量(t)	586.00	316.08	347.44	0.00	1.81	0.00
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	259	0	0	1.81	0
	再生利用者への処理委託量(t)	586.00	304.72	347.44	0	1.81	0
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	46	0	0	0	0
(これまで実施した取組) 動植物性残渣…野菜類、パン類、その他の食材をしっかりと分別し、再生利用しやすいように排出を行っている。 廃プラスチック類…排出先から動植物性残渣の付着が多いという指摘を頂き、残渣の付着のひどいものを洗浄する取組を行っている。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類	汚泥(泥状のもの)	廃油	金属くず	廃電池類
	全処理委託量(t)	585.00	315.00	346.00	0.00	1.71	0.00
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.00	258	0	0	1.71	0
	再生利用者への処理委託量(t)	585	0.00	346.00	0.00	0.00	0
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	44	0	0	0	0
(これまで実施した取組) 廃プラスチック類…動植物性残渣を洗い流すための専用の機械の導入を検討中です。洗浄前に材質ごとに分別して、より多くのものを効率よくリサイクルに回す計画です。							